

八王子市立 南大沢小学校「平成20年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
 「仲間とともに」 協調性・社会性
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性の育成に向けた教育を推進する。

[教育目標]

人間尊重の精神を基に、児童の可能性を引き出し、自ら学び判断し、実践する力を養うとともに、社会性と国際的視野を身に付けた、心身ともに調和のとれた児童の育成を目指す。

1 地域の実態

教育に対する多様な考えが存在し、その結果、児童の学力差が大きくなっている。

2 地域・保護者の期待や願い

学校でなければできない力を身に付けさせてほしい。

3 期待される子ども像

基礎・基本を確実に身に付けた子ども
 学んだことを応用・発展させる意欲と能力をもった子ども

《本校の現状》(「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること)

国語は、基礎的および応用発展的な問題について、ともに目標値を達成した。

- ・国語においては、標準的な時数よりも1,2学年で8時間、3学年で3時間、4,5,6学年で2時間多い授業時数を確保する。
- ・日常的な国語の指導とともに、読書にかかわる指導や話す・聞く活動を充実させる。

算数についても、基礎的および応用発展的な問題について、ともに目標値を達成した。

- ・標準的な時数よりも1,2学年で8時間、3学年で3時間、4,5,6学年で2時間多い授業時数を確保する
- ・少人数指導(3~6学年)を平成16年度より取り入れている。学習の習熟の程度に応じた学級編成などの工夫を行い、少人数指導の効果を更に高める。
- ・少人数担当を中軸に、算数科の指導方法の工夫、改善を進める。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

体験的、問題解決的な学習の積極的な推進
 指導方法と評価の工夫、改善
 児童の実態に応じた、個別指導やグループ指導の充実
 地域の自然や環境を生かした教材の開発

(本年度の学力向上の具体策)(いつまでに、どの程度)

学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高めるために、習熟の程度や興味、関心等に応じた「課題別指導」「習熟度別指導」を年間を通じて充実させ、基礎・基本の確実な定着を図る。

きめ細かな指導で、学ぶ意欲を育て、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身に付けさせるために、指導力向上を図る。

読書指導の内容、方法を体系化するとともに、本に親しむ態度を育て、読書ボランティアを活用して読書活動の充実を図る。

(各学級、週1回の朝読書、読書ボランティアを活用した月に1回程度の読み聞かせを行う。)

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高めるために、習熟の程度や興味、関心等に応じた「少人数学習集団」による指導の検証及び評価を行う。

きめ細かな指導で、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身に付けさせるために、調査の結果を踏まえ「指導力向上を図る校内研修」を行い検証する。

読書指導の内容、方法を体系化するとともに、読書ボランティアを活用して読書活動の更なる充実を図るとともに、その成果を検証し評価する。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなやカタカナ、漢字を書く、読むなどの基本的なことを身に付けさせている。 ・本を読む楽しさを知るために、読み聞かせを続けた。 ・言葉で表現したり、聞いて自分の考えを持つことがうまくできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遊びや言葉さがしを通して語彙を広げる楽しさを味わわせる。 ・日記や作文指導を通して、自分の思いを文字に表す楽しさを味わわせる。 ・スピーチ活動を通して、自分の思いを伝える、友達の思いを聞く体験を増やす。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを多くとりいれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの自由な発想を大切に、自由に表現できる雰囲気をつくっておく。 ・身体表現活動を通して、友達と親しみを深め、音楽の時間が学校生活の緊張を和らげるものにする。
社会			図工	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく授業に取り組む。 ・言葉かけ等、配慮を要する児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを持って進んで表現し、創造活動を楽しみ、表現の喜びを味わうことができる題材設定をする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中にある、具体物の操作活動を通して、数や量の概念や表し方について理解させた。 ・タイルなどの半具体物から、数字だけの操作に移行できない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を動かし、体を使って活動的に学ぶようにする。 ・個に応じた指導を前提に、協力し合って、みんなで答えを見つけだす楽しさを味わわせる。 	家庭		
理科			体育	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差はあるが、集団で楽しむ運動遊びを中心にした。 ・学習カードを活用し、意欲を持って取り組めるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の運動やゲーム遊びを工夫してとりいれ、運動の楽しさや喜びを味わわせるように指導のありかたを工夫する。 ・学習カード、相互学習の積極的な活用を図る。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生活や地域にあったもので、2年生と楽しく活動できるようにする。 ・季節を感じる直接体験活動を取り上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生と協力して楽しく活動できるように言葉をかけ、担任だけでなく保護者や地域の方にも協力をお願いする。 ・自らの活動をふり返り、自己の成長を実感させる。 	総合的な学習の時間		
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>特別活動 係が中心になって計画し、ゲームや話し合いを進めている。 みんなで、働く、考え合う、楽しむ活動を進める。</p> <p>道徳 集団生活のルールを学ぶために、学校放送や副教材などを効果的に取り入れる。 学級目標を子どもたちで作し、意識して生活をさせている。</p>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・たくさんの新出漢字が多く短時間でいかにポイントをおさえた指導ができるか。 豊富な課題を精選して指導していく難しさ。	・授業ではやる気をもたせ家庭学習等で習熟させる。 ・朝の会のスピーチ、日記指導、音読カード等で話す、書く、読むなどの機会を多くする。	音楽	・楽しく意欲的に音楽活動をしている。できるだけ多くの音楽に接するように心がけている。	・音楽の楽しさや美しさを感じ取り、生き生きと音楽活動ができるように題材の設定及び教材の工夫をする。
社会			図工	・楽しく、意欲的に授業に取り組む。言葉かけ等、特別な支援を要する児童もいる。	・自分の思いを持って進んで表現し、創造活動を楽しみ、表現の喜びを味わうことができる題材設定をする。
算数	・一人ひとりの個に応じた指導をする時間の確保。 ・正しいこと間違っていることが、わかりやすい教科であることを生かしてやる気をださせていく。 ・間違いがかさなるとやる気をなくす子がいる。	・時間外で個別指導していく。 ・ひとつずつ段階をふんで指導していく。	家庭		
理科			体育	・個人差、能力差が大きい。どの子にも楽しい学習となるようにする。 ・どの子も自分の能力に応じて意欲的に学習させる。 ・個人やチームの能力にあった内容をあたえたい。	・学習のねらいや内容を具体的にしていく。 ・カード等で細かくめあてを持たせやる気を持続させる。 ・やさしいものから難しいものへと発展性を持たせ課題をあたえていく。
生活	・子ども達の生活や地域にあったもので、2年生が中心となり1年生と協力して楽しく活動できるようにする。	・1,2年生が協力して楽しく活動できるような言葉かけをしていく。 ・担任だけでなく保護者や地域の方にも協力していただく。	総合的な学習の時間		
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>特別活動 係りが中心になって計画し、ゲームや誕生日カードのプレゼントをして、誕生日会をおこなうことができた。</p> <p>道徳 集団生活のルールを学ぶ場として、学校放送を活用した。</p>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が好きであるが、選ぶ本に偏りがある。 ・漢字の習得に時間がかかる。 ・話は聞くことができる子が多い。 ・考えを明確に伝えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の充実。必読書の選定。 ・漢字ミニテストを継続的に行う。 ・スピーチタイムの充実。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学習に取り組んでいる。技術的な面で個人差が大きくなるように配慮して指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の楽しさや美しさを感じ取り、生き生きと音楽活動ができるように題材の設定及び教材の工夫をする。また個別指導を行い、基礎力の定着を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域に関心はあるが、資料活用能力や社会的思考力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって調べられるよう、体験学習の充実。 ・地域の人々に協力を得て、町たんけん店たんけんなどの実体験を豊富にし、思考力を高める。 ・新聞やパンフレット等まとめる方法の充実。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直である。全体的に、落ちついて学習できるが、中には、授業に集中できない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創造活動を楽しみ、表現の喜びを味わうことができる題材設定をする。 ・表現の意図に応じて身近な用具の取り扱い方法を習熟させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・「解く力」を中心に基礎基本の充実をはかってきた。その成果は出ている。 ・「自ら考え解決しようとする力」「説明する力」、分からないときに「質問する力」などは今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、基礎基本の充実に力を入れていく。そのために個別指導の一層の充実をはかる。 ・自ら考える力、説明する力、質問する力をつけるための時間をどう確保するかが問題。教材の精選、授業の焦点化などでそれを確保していくようにする。 	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみながら興味・関心をもって実験・観察することができた。自然の事象について理解する科学的見方や考え方についての力がより深まるようよりよい指導法を考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫や植物などの教材は、自然環境と学習時期に合致した、緻密な準備が必要である。また、教材研究、事前実験等を確認に行い、一人一人の考えやグループの考えを出し合わせ学級全体で、相互に話し合い、科学的な思考を高め合う指導を工夫する。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく運動できるが、めあてをもって運動の仕方を考え、工夫する力が弱い。 ・勝負にこだわり、友達の良さを生かして協力する事が苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、自分のめあてがはっきりわかるようにする。 ・友達のよさを見合う場を多くもち、自分もできるようになりたいと思えるようにさせる。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・課題があれば、まじめに取り組めるが、自分から課題を設定するのが難しい。 ・最初のやる気が継続しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある課題の提示。 ・体験活動から、自主的な活動へと発展させる。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>(道徳)授業ではよく分かる。生活の中で実践できるよう教育活動全体を通じて指導している。</p> <p>(特活)学級でのお楽しみ会など、係が中心となって計画し、協力して行うことができる。</p>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ等意欲的に取り組み、ほぼ全員みんなの前でしっかりと話すことができる。 ・話を聞くことは、よくできる。 ・読書が好きで、習慣となっている。 ・漢字の習得には時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なテーマで引き続きスピーチ活動を取り入れていく。 ・読書時間の確保。感想等の情報交換も行っていく。 ・漢字ミニテストを継続的に行う。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気得意欲的に学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の楽しさや美しさを感じ取り、生き生きと音楽活動ができるように題材の設定及び教材の工夫をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ問題に興味・関心を持ち、意欲的に調べ学習に取り組んだ。 ・資料活用能力や社会的思考力は、もう少し身につけていきたいところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って調べられるよう、体験学習の充実を図る。 ・資料の読み取り方の指導をていねいに行っていく。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・素直な児童が多い。言葉かけなど、配慮を要する児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創造活動を楽しみ、表現の喜びを味わうことができる題材設定をする。 ・表現の意図に応じて身近な用具の取り扱い方法を習熟させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・「解く力」を中心に基礎基本の充実をはかってきた。その成果は出ている。 ・「自ら考え解決しようとする力」「説明する力」、分からないときに「質問する力」などは今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、基礎基本の充実に力を入れていく。そのために個別指導の一層の充実をはかる。 ・自ら考える力、説明する力、質問する力をつけるための時間をどう確保するかが問題。教材の精選、授業の焦点化などでそれを確保していくようにする。 	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察には、興味をもって取り組むことができた。 ・科学的思考力については、さらに身につけていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や物作りの活動をひとりひとりができるだけ多くできるように準備して、物の性質やはたらきについての見方や考え方を養う。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく運動できるが、めあてをもって運動の仕方を考え、工夫する力が弱い。 ・サッカーや野球等特定の競技は得意な児童が多いが、表現やマットなど経験不足の運動には苦手意識のある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、自分のめあてがはっきり分かるようにする。 ・様々な運動の良さを体験できるように指導する。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・課題があれば取り組むが、自分から課題をもって取り組むことは、難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味をもてるようなテーマを設定する。 ・ひとりひとりが課題をもって取り組めるように、資料や学習の進め方を提示する。 ・地域の方の力を借りて、体験活動を豊かにする。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>(道徳)授業ではよく分かるが、生活の中での実践となると難しい。</p> <p>(特活)学級でのお楽しみ会など、係が中心となって計画し、協力して行うことができた。</p>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章力がない。 話す声・音読の声が小さい。 長文読解が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 日記指導を通し、作文の基礎基本および、文章表現の工夫を指導する。 繰り返し指導することによって、大きな声を出せるようにする。 読書を通して文章に慣れさせる。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気でのびのびと学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き生きと音楽活動をし、豊かな表現ができるように、個に応じたためあてを持たせ、主体的に取り組めるように指導法や教材を工夫する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 自分で問題意識をもつことが難しい。 子どもによって興味関心に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科見学の際、各自、調べたいことを決め、主体的に見学させる。 繰り返しプリントを行う。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に意欲的に学習に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の喜びを味わうことができる題材設定をする。 造形感覚を生かすことができるように身近な用具の取り扱い方法を習熟させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 「思考力」を中心に基礎基本の充実を図ることが課題である。 「自ら考え解決しようとする力」「説明する力」、分からないときに「質問する力」などは今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、基礎基本の充実に力を入れていく。そのために個別指導の一層の充実をはかる。 自ら考える力、説明する力、質問する力をつけるための時間をどう確保するかが問題。教材の精選、授業の焦点化などでそれを確保していくようにする。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 実習は意欲的に取り組む児童が多い。 家庭での家事分担や経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活や家庭とのかかわりに帰着できるような、実践的・体験的な題材を設定する。 製作では、児童の経験等に左右されるので、個に応じた指導を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 興味や関心をもって実験や観察をすることができる。自然の事象について理解する科学的見方や考え方についての力がより深まるようよりよい指導法を考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫や植物などの教材は、近隣の自然環境と学習時期に合致した緻密な準備が必要である。また、一人一人の考えやグループの考えを出し合わせ学級全体で、相互に話し合い、科学的な思考を高め合う指導を工夫する。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 得意な児童と苦手な児童の差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 得意な児童が苦手な児童を教える。球技などは、苦手な子だけでやらせて、ボールを手にする楽しみを体得させる。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> クラスで問題意識を持つことはできるが、各自の問題として考えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題としてとらえられるように、各自に書かせる。書けない児童には、担任がアドバイスする。
<p>その他（道徳・特別活動等）</p> <p>クラスの実態をみながら、そのつど必要な指導を行う。その際、副教材などを使い効果的な授業の計画をたてる。高学年としての意識をもたせ、学校全体を見渡せるような指導を行う。</p>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話す聞く 相手の立場や意図まで考えながら聞くことが難しい。 ・読む 場面の様子や人物の心情を豊かに想像することを指導しているが、表現にまでは結びつかない。 ・書く 長文を書くことに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す・聞く スピーチやインタビューなどコミュニケーションの基本となる活動を重ねている。 ・読む 読書をする機会を増やし、文章の意味を考えながら読む指導の工夫を行う。 ・書く 日記やミニ作文を日常的に書く指導を重ねている。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気での学習できるが、表現をすることが苦手な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生きと音楽活動をし、豊かな表現ができるように、個に応じたためあてを持たせ、主体的に取り組めるように指導法や教材を工夫する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の学習に興味をもって取り組んでいる。歴史上の人物の業績を知り、意欲的に調べている。 ・史実を知ることが好きだが、それらを覚えることを苦手とする児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史では、人物の業績や史実について、因果関係をおさえ、興味関心をもたせる。そのために、資料集やビデオなどを効果的に活用する。 ・小テストを行う機会を増やし、学習したことの定着を図る。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組む児童が多い。学習に集中するまでに時間がかかる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の喜びを味わうことができる題材設定をする。 ・造形感覚を生かすことができるように身近な用具の取り扱い方法を習熟させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・「解く力」を中心に基礎基本の充実をはかってきた。その成果は出ている。 ・「自ら考え解決しようとする力」「説明する力」、分からないときに「質問する力」などは今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、基礎基本の充実に力を入れていく。そのために個別指導の一層の充実をはかる。 ・自ら考える力、説明する力、質問する力をつけるための時間をどう確保するかが問題。教材の精選、授業の焦点化などでそれを確保していくようにする。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は意欲的に取り組む児童が多い。家庭での家事分担や経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活に関わるような、実践的・体験的な題材を設定する。 ・製作では、児童の経験等に左右されるので、個に応じた指導を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験には興味を持って取り組んでいる。 ・実験結果を他の実験結果と関連づけたり、事実を覚えたりすることを苦手とする児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の仕方を工夫したり、デジタル教材やビデオなどを活用したりして、興味関心を高める。 ・小テストを行う機会を増やし、学習したことの定着を図る。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な運動に興味を示し、意欲的に楽しく活動することができるが、器械運動や縄跳び、鉄棒に苦手意識を示す子がやや多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種目に挑戦させることにより、得意なものや好きな運動を見つけさせ、教え合うことを通して自信をもたせる。また、縄跳びカードの活用などにより、日常化を図り苦手意識を克服させる。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・日光や環境についての調べ学習に意欲的に取り組んでいる。興味、関心のあることを調べ、発表することには意欲的である。 ・図書資料や、インターネットからの資料を活用する力はあるが、人から学ぶといった機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの資料だけではなく、複数の資料を活用し、比較する力をつける。 ・日光林間学校の際など、自然博物館の方のお話を聞いたり、自然保護運動家の方の活動の様子を聞いたりして、人から学ぶ機会を増やす。
<p>その他(道徳・特別活動等) 道徳 学級の実態や児童の課題に応じて、時と場に適切な指導を行うようにする。また、葛藤を生むような副教材を効果的に活用して、自分の心を見つめさせるようにする。 特活 最上級生としての自覚と責任を意識させ、縦割り班活動などを通して下学年児童に対する思いやりの心を育てるようにする。クラブや委員会活動を通して、学校全体を見渡すような視点をもたせる。中学生に向けての準備段階として自治活動を意識させる。</p>					